

## 土木学会 男女共同参画小委員会 活動報告

### ◆学会概要

1914年に設立され、土木工学の進歩及び土木事業の発達並びに土木技術者の資質向上を図り、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与することを目指しさまざまな活動を展開している。

会員は、教育・研究機関のほか、建設業、コンサルタント、官庁など多岐にわたる職場に属し、2009年6月末における会員数は、個人正会員 30,684人（うち女性 702人、全会員に対する比率 2.3%）、学生会員 4,846人（うち女性 536人、全会員に対する比率 11.1%）である。

男女共同参画に関しては、2004年に暫定的な委員会としてジェンダー問題検討特別小委員会が発足した。そして、2006年6月にジェンダー問題検討特別小委員会が常置の委員会として承認されたこととともなって、委員会名称を男女共同参画小委員会と変更し、活動を続けている。

### ◆平成 21 年度の活動

男女共同参画小委員会は 10名の委員（女性 5名、男性 5名）で構成されており、広報、企画、調査の 3つの WG に分かれて活動している。今年度の主な活動を紹介する。

#### **ダイバーシティ推進フォーラム「建設分野における女性活躍支援ネットワーク」の開催**

2009年5月12日、土木学会講堂（東京・四谷）において、ダイバーシティ推進フォーラム「建設分野における女性活躍支援ネットワーク」を、地盤工学会の共催、土木技術者女性の会、建設コンサルタンツ協会、男女共同参画学協会連絡会、日本土木工業協会（順不同）の後援の下開催した。プログラムは以下のとおりであり、男性 15名を含む、約 60名の参加があった。

#### 講演会：

女性土木技術者によるキャリアモデル（鹿島建設㈱裏高尾 JV 工事事務所副所長 須田久美子氏）  
土木学会におけるダイバーシティ推進の取り組み（土木学会会長 栢原英郎氏）  
建設系企業におけるダイバーシティ推進の取り組み（大成建設㈱女性活躍推進室長 塩入徹弥氏）

#### 相互交流・情報交換会：5グループに分かれて討論

全体討論会：各グループから結果報告・集約、学会や委員会、各組織間の連携のあり方などを討議

全体交流会：参加者、講演者、主催者等による交流

#### 全体討論会後の様子



基調講演を通じて、女性技術者からはロールモデルとの出会いの大切さや仕事を続けるコツの披露、学会からは正会員や理事会を中心とする女性比率の低さの問題が強調され、女性活躍推進担当からは取り組み以外にも、長時間労働の改善など、女性に限らない土木分野全体の問題へ対処が訴えられた。

相互交流・情報交換会及び全体討論会を通じ、古くからいわれてきた問題点が未だ残っている一方、女性技術者に対する誤った配慮など新たな問題も発生しているなどの問題認識が行われた。

最後に、経営層・意思決定層に女性の存在が不可欠、人的ネットワークの強化と継続的な支援が必要、産学官が参加する組織である土木学会に対する期待、などが提言としてまとめられた。

#### **2009 女子中高生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～ポスター展示への参加**

2009年8月13日から15日、国立女性教育会館において開催された「女子中高生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～」において、14日に地盤工学会と共同開催で、「私達の暮らしを支える土木工学」をセッション緒言とするポスター展示と説明を行った。

展示内容：土木学会・地盤工学会ポスター、液状化発生装置、地盤液状化実験ボトル『エッキー』、土木現場で活躍する重機ミニカー  
配布資料：地盤工学会パンフレット、地盤工学会名前入りシャープペン、土木パンフレット

#### 展示と説明の様子



### ◆活動の詳細や連絡先等

土木学会男女共同参画小委員会ウェブサイト (<http://committees.jsce.or.jp/education03/>)